



チームとサポーター、 One HEARTで目指せ頂点

越後監督がレディースを率いて2年目、1年間かけて育ててきたチームが結果をだしていく年になる。一方で、大幅な選手の移籍や新加入があった今シーズン、どんなチームづくりを考えているのか、どんな試合運びをしていくのか、監督に直接お話を伺う機会を得た。気さくで率直、素人相手に言葉を選んで分かるように説明してくれた監督に、選手も寄せているであろう信頼を感じ、サポーターも一緒にチームを育てていきたいとの思いを強くした。以下、監督が語ったことをサポーターの皆さんにお伝えする。

目指すのは 「優勝できるチーム」づくり

1年間かけて、選手たちに伝えてきたのは「優勝するため」の論理的に考えるサッカーだ。目指す論理的サッカーは、「優勝できるチーム」になるために必要なものである。そうはいっても押しつけではなく、一人一人の選手が納得し自ら動けるように導いていくのが

監督の役割だ。そんな思いで昨シーズンはトレーニングを重ね、少しずつ試合でトライしてきたことを、昨年のリーグ第16～18節の最終3戦で見せてくれたと実感した。今シーズンのスタートに繋がれば、「状況によって選手が判断し、なおかつ勝てるサッカー」を見せることができると思う。

台湾キャンプで得たもの

1月25日～2月5日に行なった台湾キャンプのテーマは2つあった。1つは、今シーズン最後まで走り切るフィジカルの土台づくり。そして、8人の新入団選手との、コミュニケーション。2人部屋で新旧選手が組んで生活を共にし、買い物や両替も自分たちで協力してやらなければならない環境で、1週間もしたらすっかり打ち解けていた。きつい練習をした後に食事を一緒にし、「頑張ろう」と声を掛け合う生活で、もともと一緒だったようなチームとしてのまとまりができた。

試合観戦の見所

攻守の切り替え、特に守備から攻撃へのスピードを見てもらいたい。攻撃中に奪われて守備にまわり、再び奪い返したここがチャンス、といった場面に注目して欲しい。ボールが縦に入るのを見るのは楽しくて、観客も盛り上がる。お客さんに楽しんでもらうのが1番なので、そうした場面を多くしたい。一方で、横のボ



笑顔で、丁寧に説明してくれる越後監督

ール回しにも意図がある、バックパスにも意味があることも理解して見て欲しい。ボールを回している方より、回されている方はスタミナを消耗する。精神的にも苦痛になってくる。強豪チームが、後半20分以降に点を取る回数が多いのは、相手に対してそうした試合運びができてきているからだ。ただ、ボール回しにはカウンターを受ける可能性が高くなるというリスクがある。押し込んで、奪われて、奪い返して、相手の陣形が崩れたところをついて行くのが王者のサッカーといえる。サッカーは単純ではない。いろいろな楽しみ方をしていいと思う。



身振り、手振りを交えた熱心なお話に引き込まれました

後援会(サポーター)の皆さんへのメッセージ

いつも応援いただき、ありがたく思っている。今シーズンこそは、という思いで一戦一戦戦っていくので、引き続きご声援をよろしく願いたい。

昨年の皇后杯最後の浦和戦を覚えていただいているだろうか？PKで負けたが、自分から見ても本当に戦っている試合だった。勝ちたい、絶対負けたくないという気持ちが見えた。それが昨年1番の財産になった。もしかすると動きが気になって、勝つという1番のペースを出せていなかったのかもしれない。勝つという目的をベースに「論理的なサッカー」をのせ、熱く熱く戦っていくので期待して欲しい。

目標は、もちろんリーグ戦での優勝。皇后杯、カップ戦含め、どれか一つはタイトルを取りたい。

インタビューを終えて

サポーターの声は、ピッチにも意外に届いているのだそう。応援は大きな力になる。でも、ブーイングも聞こえている…選手を萎縮させるのではなく鼓舞する声援を送りたいものだ。スポーツクラブチームは、選手、フロント、サポーターなどが一緒になって育てていくもの。試合の観客は、5000人欲しい。選手側からすれば、成績をあげること、よい試合をすること。それが観客を呼ぶことに繋がる。

仙台のプロスポーツで頂点に1番近いのがマイナビベガルタ仙台レディースだと、多くのサポーターは思っている。チーム、サポーター一緒に、One HEARTで頂点をめざそう！



ベガルタ仙台レディース 後援会通信

2018年 3月21日発行 **vol.1**
編集・発行 /
ベガルタ仙台レディース後援会 (通算 vol.28)

『新生マイナビベガルタ仙台レディース!』 越後監督率いるチームを支える

2018年は、仙台・宮城が注目を集めています。仙台市出身の羽生選手のオリンピック金メダル! 2連覇! この偉業で幕を開けた今年の仙台・宮城のスポーツ界! 我らも、女子サッカーで仙台・宮城を盛り上げましょう!

マイナビベガルタ仙台レディースは、今年2月5日～約2週間、チーム初となる台湾の温暖な地でキャンプを張り、例年以上にハードな練習を積み、新たに加わりし8名の仲間と連携の強化をし、チームを纏め上げてきたと聞いています! 新生『マイナビベガルタ仙台レディース』の開幕です。

私たち後援会は7シーズン目を迎え、これからも、今まで以上に越後監督、スタッフ、選手へのサポートを力強く進めていきたいと考えています。ベガルタ仙台レディース後援会は、チーム発足の2012年『未来を信じ努力を惜しまず、仲間と共に夢に向かって進んでいく、マイナビベガルタ仙台レディースに関わる人たちを支援すると共に、宮城のスポーツ文化の振興、地域社会の発展に寄与する』ことを目的に設立されました。

今シーズンも、仙台白百合女子大学様のご協力のもと

に『まごころ弁当2018』を作り、選手へお届けし、栄養管理や、スキルアップのお手伝いをさせていただきます。昨年よりご好評いただいています、マイナビベガルタ仙台レディースジュニアユースの保護者向けの栄養講座なども開催していきたいと考えています。

ホームゲームの際は、会員の皆様の会員更新や、新規会員の受付も行います。また、チームと一緒に災害などが発生した際には、募金活動にも協力しています。情報の発信としては、昨年同様『後援会通信』の発行、ホームページの更新も行います。

マイナビベガルタ仙台レディースの試合を熱く熱く応援していきます。そしてタイトル奪取へ、後援会会員、サポーターの皆さんと一緒に応援していきたいと思ひます。

どうか今シーズンもよろしくお願い申し上げます。



▲松坂信後援会会長

ホームゲーム会場の
後援会ブースで
受付をしています。

○入会金 / 3,000円(初回のみ)

○年会費 / 1口 2,000円(何口でも)

○入会特典 / 後援会オリジナルTシャツ、後援会オリジナルバッジ

☆入会時は入会金と年会費を合わせた金額をお支払いください。(更新時は年会費のみ)

☆2018年度会期は2019年1月31日までです。☆入会時に会員証をお渡しいたします。



レディース後援会のホームページ <http://vegalta-ladies.com/>



女子サッカーの未来を熱く語る

ベガルタ仙台レディース後援会の第6回定時総会が、2月18日(日)、昨年に引き続き仙台市泉区のユアテックスタジアム仙台の会議室で開かれました。雪が残る寒い日にもかかわらず、会員、来賓53名が出席、会場は熱気に包まれました。

折しも前日17日、平昌五輪フィギュアスケート男子シングルで、仙台市出身の羽生結弦選手が金メダルをとったばかり。郡和子市長の代理でごあいさついただいた文化スポーツ部細井崇久部長は、カメイアリーナでのパブリックビューイングの興奮がさめやらぬ様子で、「金メダルで始まった仙台スポーツ界は、マイナビベガルタ仙台レディースも金、すなわちタイトル奪取しかない、応援しています。」と激励しました。それを受けて、西川善久ベガルタ仙台代表取締役社長は台湾キャンプに触れ、今季入団した8人もすでにチームにフィットし、今すぐにでも試合できるようになっている。」と力強く応えました。



▲郡市長代理で祝辞をいただいた仙台市文化観光局文化スポーツ部長 細井崇久氏



▲ベガルタ仙台代表取締役社長 西川善久氏のあいさつ

議事に移り、2017年度の事業活動報告・収支決算と2018年度の事業計画・予算案、新理事の2名が承認され、さらに、仙台市長の交代に伴って、郡和子市長に顧問を委嘱することが満場一致で承認されました。

2018年度 顧問・役員は以下の通りです。

顧問	郡 和子(仙台市長) 中島信博(東北大学名誉教授)
会長	松坂 信 (株式会社すてーきはうす伊勢屋代表取締役社長)
副会長	氏家幸子 (仙台白百合女子大学人間学部健康栄養学科) 佐藤幸恵 (株式会社日専連ライフサービス 執行役員総務・財務部部长)
理事	海老名快、大山照枝、岡田英大、齋藤昭子、菅田華江、田村伸一郎、内藤恵子、野澤令照、松良基広、横田悦子 *八島八重子 *石田一也(*新理事)
監事	板垣金太郎、河野雪子

講演「女子サッカーのいま」

恒例の講演会は、宮城県サッカー協会専務理事の竹鼻純氏を講師にお迎えして行われました。ご存知のように、竹鼻氏は、宮城テレビ放送のアナウンサー時代にはスポーツ実況を担当したこともあり、退職後はベガルタ仙台に勤務されました。深くサッカーに関わって来た経験に裏付けされた内容とプロの語り口に、参会の皆さんも話に引き込まれ、講演後の質問タイムはこれまでになく盛り上がりました。

宮城県的女子サッカー選手数が少ないこと、しかも年々減少傾向にあることを具体的な数字を出して説明。日本全体で見ても同様で、諸外国と比べても、国内の他スポーツと比較しても少ないことから、女子選手の拡大策が女子サッカー界の大きな課題であるとの認識が示されました。

親のライフスタイルの多様化や、学校教育でのサッカーの扱いの変化など、サッカー環境の課題は多々ありますが、幼稚園・保育園から、小・中学校世代を対象とした様々な拡大策を検討中であることを教えていただいた一方で、ベガルタ仙台レディースにあっては、試合に勝つこと、タイトルをとることが、女子サッカーの底辺を広げることに繋がると話されました。

「女子のサッカー人口を増やすには、女子サッカーがカッコいいと思わせること」と語る講師の竹鼻氏



◀顧問の東北大学名誉教授 中島信博氏も「同感」の意見を述べられました

最後に「女子サッカーはカッコいい」ことを広げたい、2019年の女子ワールドカップフランス大会、2020年の東京オリンピックは、そのチャンスであると締めくくられました。

ベガルタ仙台レディース後援会設立趣旨 閉会のあいさつの中で、氏家幸子副会長が、講演いただいた内容は後援会趣旨に通じると説明、今シーズンも引き続きの応援・支援活動を確認して、総会を閉じました。

会員継続・更新手続きのお願い

平素より後援会活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。発足以来、664名の皆様にご入会いただき、そのご支援が大きな支えとなっておりますことを、心より御礼申し上げます。

ベガルタ仙台レディース後援会は、会員一人一人が作り上げる組織です。まだ2018年度の更新をされていない会員の皆様は、更新の手続きを行っていただき、引き続きご支援くださいますよう、よろしくお願いいたします。

2018年度の会期は、2018年2月1日～2019年1月31日です。

会員更新手続きは、以下の通りです。

☆ホームゲームの際に、後援会ブースで簡単に更新手続きができます。

後援会ブースは開場から試合開始15分前まで開設しています。

☆郵便振替での更新手続き方法【青色で印刷された振込取扱票をご使用ください】

振込先：ベガルタ仙台レディース後援会 □座記号番号：02270-0-112505

通信欄：1) 会員番号 2) Eメールアドレス (変更があった場合のみ)

会 費：一口2,000円以上、何口でも結構です。

☆更新の際に本年度バージョンの「後援会オリジナルバッジ」(写真右)を進呈いたします。



▲今年度「犬年バージョン」の「後援会オリジナルバッジ」

台湾キャンプ、現地視察報告

ベガルタ仙台レディース後援会では、マイナビベガルタ仙台レディースの初めての台湾キャンプを視察してきました。

台南市でのトレーニング初日。温暖な気候と晴れやかな空のもと、身体の動きを確認しながら笑顔はじけるスタートでしたが、皆すぐに顔つきが真剣に。新加入選手とのコミュニケーションも、合流後間もないとは思えないほどでした。

台南市、台北市それぞれのキャンプ地では、現地の皆さまから大歓迎をうけたとの事です。

今季目標を達成し、応援していただいた台湾の皆さまにも良いご報告ができるよう願っています。

私たちベガルタ仙台レディース後援会は、今シーズンも選手、チームを応援しサポートしてまいります。(副会長 佐藤幸恵記)

